

EY | Building a better working world

EYは、「Building a better working world（より良い社会の構築を目指して）」をパーパスとしています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。

150カ国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。

アシュアランス、コンサルティング、法務、戦略、税務およびトランザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起（better question）をすることで、新たな解決策を導きます。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EYのコンサルティングサービスについて

EYのコンサルティングサービスは、人、テクノロジー、イノベーションの力でビジネスを変革し、より良い社会を構築していきます。私たちは、変革、すなわちトランスフォーメーションの領域で世界トップクラスのコンサルタントになることを目指しています。7万人を超えるEYのコンサルタントは、その多様性とスキルを生かして、人を中心に据え（humans@center）、迅速にテクノロジーを実用化し（technology@speed）、大規模にイノベーションを推進し（innovation@scale）、クライアントのトランスフォーメーションを支援します。これらの変革を推進することにより、人、クライアント、社会にとっての長期的価値を創造していきます。詳しくはey.com/ja_jp/consultingをご覧ください。

© 2024 EY Strategy and Consulting Co., Ltd.

All Rights Reserved.

ED None

不許複製・禁転載

本書には機密情報が含まれます。また、本書に関する一切の権利はEYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社に帰属します。当社の書面による承諾がない限り、第三者への開示を禁じます。

ey.com/ja_jp

サービスに関するお問い合わせ

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社

東京都千代田区有楽町1-1-2 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー

Tel : 03 3503 3500（代表）



JSOX対応支援

EYストラテジー・アンド・コンサルティング
株式会社

貴社のJSOX対応は単なる制度対応にとどまらず、適正な財務報告の実現に向けて積極的に進化していますか？

「内部統制報告制度の評価範囲外で開示すべき重要な不備が発覚している」、「内部統制の有効性評価結果の訂正時に十分な理由が開示されない」等の事例が一定程度見受けられたことを踏まえて、2023年4月に内部統制報告制度の大幅改訂が行われました。この改訂により内部統制報告制度の適用対象である上場企業は、より実効性の高い内部統制報告制度対応が求められています。

不確実な環境の中で有効な企業経営を行う、あるいは、利害関係者への説明責任を果たすことがより一層求められていますが、当該要求に応える上で、適正な財務報告の実現は重要な基盤の1つだと考えられます。当該基盤を強固にするため、適切な評価範囲の設定、不正対応に係る内部統制も含めた財務報告に係る内部統制の水準をより進化させていくことが必要となっています。

EYは過去の内部統制報告制度への対応支援および内部統制監査の豊富な経験により培われたナレッジを生かして、単なる制度対応のみにとどまらない、より良い企業経営の観点も踏まえた視点で、貴社の内部統制報告制度対応をサポートいたします。

JSOX対応のための内部統制構築・文書化支援

JSOX対応に必要な評価範囲の決定から各種JSOX関連文書の文書化およびJSOX対応にとどまらない内部統制に係る改善案の提示等幅広い支援を行うことが可能です。また、2023年4月改正の内部統制報告制度対応のため、評価範囲の見直し支援、不正リスクをより考慮した文書化支援等も行います。

支援範囲については、貴社との協議の上、自由にカスタマイズ可能ですので、貴社が必要とされる業務のみの支援が可能となっています。

海外子会社への対応も可能です。

【JSOX対応のための内部統制構築・文書化支援内容】

| | Step 1 現状把握・文書化 | Step 2 改善案の検討 | Step 3 改善策の実行・文書修正 |
|------|--|---|--|
| 目的 | 現状把握・文書化 | 必要となる改善案と改善優先度検討 | 改善策の実行・文書修正 |
| 支援内容 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 評価範囲の決定、評価範囲決定に関する根拠資料作成支援 ▶ 現状把握手続き実施（業務フローのヒアリング、証憑類の確認、不正リスクと対応状況の把握） ▶ JSOX関連文書の文書化支援（全社統制、業務プロセス文書：3点セット※1等、IT全般統制文書） ▶ 現状の内部統制のプレ整備評価実施・課題の把握 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 改善案の検討支援 ▶ 改善優先順位の検討支援 ▶ 改善のためのロードマップ作成支援 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 改善策の実行支援 ▶ 改善点に関するJSOX関連文書の文書化支援 ▶ 改善後の内部統制の整備評価実施支援 |

※1：業務記述書、フローチャートおよびリスクコントロールマトリックス（RCM）を指しています。

基幹システム等更新時のJSOX対応支援

基幹システム等の財務報告に関連するデータを扱うシステム更新時は、内部統制の効率化を進める上で最適なタイミングであり、JSOX対応業務の有効性を損なわず、効率性を追求することが可能となります。

EYでは、システムの基本設計検討段階からJSOX対応、その他のビジネスリスク対応も踏まえた業務フローの設計を支援することで、貴社の内部統制の高度化実現と同時にJSOX対応の最適化も支援いたします。

【JSOX対応最適化手法の例】

- ▶ 業務フロー標準化による内部統制評価作業効率化
- ▶ ワークフロー等の導入による職務分離機能強化
- ▶ ITによる自動処理機能追加による誤謬・不正リスク低減
- ▶ ITによるレポート機能新規追加による効率的な発見統制追加
- ▶ ペーパーレスを加味した統制証跡の保存方法検討

また、基幹システム導入時は、JSOX文書の改訂期間が短くなることも多く、システム導入作業と並行して、JSOX文書の改訂作業が必要となるケースも少なくありません。

そのため、完成後の業務フローをヒアリングして現状を把握・文書化を行う手法は採用できず、システム導入プロジェクトの進捗状況を把握しながら、将来実現される業務フローを想定して文書化を行うことが必要となるため、JSOX文書の作成に高度なノウハウが必要となります。

EYでは、システム導入時におけるJSOX文書化支援の豊富な経験により培われたナレッジを生かして、システム更新時の貴社のJSOX文書化作業を強力にサポートいたします。

JSOX対応に準拠した内部統制評価支援

JSOX対応においては、毎年、財務報告に係る内部統制の整備状況および運用状況の評価を実施する必要がありますが、当該評価業務に係る作業工数は膨大なものとなっています。その一方で、反復継続的に実施する業務という性質であるため、JSOX対応に熟練した人材が適切に関与するか否かで、評価業務の効率性に大きく影響を与えることとなります。

JSOX対応のための内部統制評価業務をEYに外部委託いただくことで、有効性と効率性を備えた評価業務の実施が可能となり、また、貴社内の人材を、社内の人材でしかできないような業務に振り向けることで、人材の有効活用につながります。

EYにおいては、内部統制監査、JSOX導入支援に関する豊富な経験を有するメンバーも多数在籍しており、JSOXの制度内容を熟知していることはもちろん、内部監査業務の支援経験も豊富にあることから、業務の有効性の観点から課題を把握し、改善提言することが可能です。これにより、単なる制度対応のための評価業務ではない付加価値を提供いたします。

【JSOX対応に準拠した内部統制評価支援メニュー】

| 内部統制評価業務 プロジェクトマネジメント支援 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ 内部統制のコソーシング・アウトソーシングによる評価支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 全社的內部統制評価支援 ▶ 決算・財務報告プロセス評価支援 ▶ 業務プロセス評価支援 ▶ IT全般統制評価支援 |

EY Virtual Internal Auditor活用によるJSOX評価業務効率化支援

EY Virtual Internal Auditor（以下、EY VIA）は、次世代の内部監査をサポートするためにEYが独自に開発したクラウドサービスです。EY VIAはSOXモジュールも備えており、当該モジュールを活用することで、JSOX評価業務を効率的に実施、管理することが可能となります。

また、EY VIAは内部監査支援ツールとして開発されているため、500超のリスク（財務報告以外のリスクも含みます）を対象としたRCM（リスクコントロールマトリックス）を標準コンテンツとして搭載しています。当該標準コンテンツを適宜活用することで、JSOXの評価業務と同時にビジネスリスクに対するコントロールの評価にも活用できます。

【EY VIAのSOXモジュールの主な機能】

| | | |
|---|--|---|
| <p>RCMにひも付けられたテスト手続きの登録</p>  <ul style="list-style-type: none"> ▶ RCMにテスト手続きをひも付けて一括登録し、SOXプロジェクトごとに評価対象となるコントロールを選択してテスト調書を作成することが可能です | <p>テスト調書の作成</p>  <ul style="list-style-type: none"> ▶ コントロールごとに期中、期末、ロールフォワードテスト調書を作成することが可能です | <p>プロセスオーナーとのコミュニケーション</p>  <ul style="list-style-type: none"> ▶ VIAを通じて直接プロセスオーナーへの質問、資料依頼や不備の改善依頼等のコミュニケーションを実施し、コントロールやプロジェクトにひも付けて管理することが可能です |
| <p>評価業務の進捗管理</p>  <ul style="list-style-type: none"> ▶ テスト調書ごと、プロジェクトごとの進捗をリアルタイムで表示するダッシュボード機能や承認ワークフロー機能を備えています | <p>エビデンスの保存</p>  <ul style="list-style-type: none"> ▶ 評価証憑はコントロールやプロジェクトにひも付けて管理することができ、その後の追跡が容易となります | <p>報告書の自動作成</p>  <ul style="list-style-type: none"> ▶ 登録した不備の情報を自動で取り込み、各種報告書を簡単に作成することが可能です |